

海外安全対策情報

【2023年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華美な服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 凶悪・粗暴事件関連

ア 刃物使用連続殺傷事件（青島市）

4月19日午後5時頃、山東科学技術大学（青島キャンパス）北門の外側歩道に
おいて、刃物を使用した傷害事件が発生し、負傷者7名のうち1名が死亡した。
公安機関が直ちに出勤し、現場で被疑者付某を確保した。

イ 北ミャンマーの詐欺グループに誘拐された男性が帰国（済南市）

済南市で料理人として働く胡江氏は5月24日、歴城区分局鮑山派出所において
「北ミャンマーでお金を稼ごう。」という動画を見たことから始まる自己の悲惨な

経験を語った。胡氏は、動画の相手と半月ほど連絡を取り合い北ミャンマーでレストランを経営する決心をし、開店資金の現金2万元を持って雲南省国境地帯の山林を抜けて北ミャンマーに入った。しかし、到着後すぐ武装した男たちに所持品を没収されて拘束され、電信詐欺グループの一員として働くことを要求されたという。胡氏はその後、詐欺の実績が良くないことから多数の懲罰を受けたが、詐欺グループのリーダーに離脱を許され、借りた電話で家族に連絡を取り、5万元を支払った後に解放されたと話している。

(2) 窃盗事件関連

ア 盗んだ電気ケーブルは合計2万メートル、80万元で売却（青島市）

膠州市公安局は4月、青島市各地で合計2万メートルもの電気ケーブルを盗み、80万元の利益を得ていた被疑者4人とその買取り業者2人を検挙した。同局は、昨年12月から本年3月にかけて多数の電気ケーブル盗難被害を受理したことから捜査した結果、各地の街灯に電気ケーブルを引き出して切断した跡があり、犯行時間前後に不審な白いワンボックスカーが通過するのを発見した。4月1日早朝、同ワンボックスカーが頻繁に現れる場所で待ち伏せした警察が被疑者らの身柄を確保し、その場で電気ケーブル1,000メートル余りを押収した。被疑者らは、昨年11月から窃盗行為を開始し、明るい時間に青島市内を物色して犯行しやすい街道を選び、夜は電気ケーブルの通電測定役、切断役、運び役に分かれて犯行を行っていたという。

イ 電動自転車80台を盗み転売（済南市）

済南市歴城警察は4月19日、盗まれた電動自転車の返還式を行い、50台以上を被害者に返還した。なお30台以上の持ち主を探している。犯人の男は昨年9月、河北省から仕事を求めて済南に来たがネット賭博に夢中になり、金が尽きて電動自転車の転売を思いついたという。齋魯医院や済南市中心医院等の大病院周辺でU字ロックの無い電動自転車を狙い、手押しで持ち去る手口で80台余りを盗み、数百メートル先のリサイクルショップに転売していた。店員には不要になった中古車で領収書等は持っていないと説明し、1台あたり100~200円で売り払っていた。

ウ 団地の窓から侵入窃盗（青島市）

城陽公安分局正陽派出所は4月12日、団地の改修工事のため外壁に設置された足場を利用して、施錠のない窓から住居内に侵入し、盗みを繰り返したとして2人の男を検挙した。同場所では、4月上旬頃から家の中の現金やタバコ、酒、貴金属が盗まれたとの通報が相次ぎ、警察が捜査していた。犯人らは、防水作業員として4月に他の省から青島へ出稼ぎに来たが、収入が少ないことから盗みを働こうと考え、夜間に無灯火の部屋を狙って侵入し、犯行に及んでいたという。犯人らは現在刑事拘留中であり、1万元以上にのぼる被害金品は被害者に返還されている。

エ 配送ドライバーによる窃盗（青島市）

膠州市公安局北関派出所は近日、某ネットショッピングサイトの商品を配送中に盗んだとして、配送ドライバー8人を検挙した。被疑者らは400回以上にわたり盗みを繰り返しており、被害額は10万元以上に及ぶ。4月14日、某ネットショッピングサイト青島支社の責任者が、ユーザーへの返金額が多過ぎるので倉庫の商品が盗まれているかもしれないと訴えたことで警察が捜査した結果、20人のドライバ

海外安全対策情報

一のうち、周某の配送範囲において返金処理が多数発生していることが判明した。そこで、周某の周辺捜査を徹底し、4月22日、商品を隠匿する現場を押さえて検挙した。その後の捜査で他の7人についても関与が判明し、現在刑事強制措置が執られている。

オ 客の多い理髪店等を狙い携帯電話を窃盗（青島市）

城陽警察は6月5日、道路沿いの繁盛店を狙って侵入し、人目を盗んで携帯電話を持ち去る手口で10日間のうちに8件11台を盗んでいた男を検挙した。同警察管内では、5月23日から携帯電話を盗まれる被害が相次ぎ、ほとんどが道路沿いの理髪店、美容室、服飾雑貨店、果物店であり、被害者は店の客であった。警察は、現場捜査で事件発生前後に白色マスクをつけた黒色Tシャツの男が現場付近を通り、ナンバープレートの無い白色バイクで現場を離れる姿を発見し、智慧捜査センターの協力を得て男の検挙に至った。男の供述によれば、以前理髪店において店主が椅子の上に置いていた携帯電話を盗むことに成功したことで、このような手口を思いついたという。

(3) 詐欺事件関連

ア 女子大生10人を一人で演じた男が460万元を詐取（青島市）

李滄公安分局は4月上旬、青島市民の張氏から「詐欺グループに騙されたかもしれない。」との訴えを受けて捜査した結果、ネット上で10人の女子大生を演じ、張氏から合計460万元を騙し取っていた30歳過ぎの男を突き止め検挙した。張氏によれば、昨年北京の大学生を名乗る女性インフルエンサーのファングループに入り、交際したいと思い微信で連絡を取るようになったが、彼女を通して彼女の友人9人とも連絡を取るようになり、それぞれ両親の入院や自分の病気、学費名目で金を貸すことになった。最初は信じたが、次第に彼女らが金目的ではないかと疑うようになり派出所に相談したという。警察は、口座捜査により濱州のATMから現金が引き出されていることを突き止め、防犯カメラ画像から男を確保して聴取したところ、詐欺の事実を認めるとともに張氏と連絡を取っていた10人の女子大生が全て自分であることを自供した。

イ “公検法” 詐欺事件（青島市）

市南公安分局香港中路派出所は4月19日、家族が詐欺被害に遭っている可能性があるとの通報を受け、百麗広場において検察官を名乗る人物に40万元を振り込もうとしていた王女を確保し、詐欺被害を未然に防止した。王女によれば、北京市人民検察院の職員を名乗る人物から電話で、「あなたに詐欺の嫌疑があり、逮捕通知書が出ている。個人資産を調査するので保証金40万元を振り込まないと逮捕する。」と言われ、自分の個人情報が悪用されたのかと不安になり要求に従ったという。

(4) 薬物関連

ア 覚せい剤等密売グループを摘発、手作り拳銃も押収（青島市）

青島市公安局城陽分局は、半年にわたる捜査で省を跨ぐ多数の薬物密売グループを摘発し、118人の容疑者を逮捕するとともに覚せい剤や手作り拳銃等を押収した。同局薬物取締大隊は2022年7月、薬物前科のある人物らが、頻繁に接触を繰り返すのを疑い捜査した結果、同人らを検挙するとともに覚せい剤の売人である劉某の検挙に至った。劉某は“埋地雷”方式により、毎回十数グラムの覚せい

海外安全対策情報

剤を埋めてタバコケースやファストフードの箱を目印とし、相手に写真や暗号を送信して取引していた。同隊は9月、さらに市北区や城陽区の薬物密売グループを摘発するとともに、彼らの供述から外省籍密売グループの情報を得て、2023年2月までに省外を含め連日摘発が行われた。

(5) 交通・事故関連

ア 死亡ひき逃げ事件（青島市）

平度市公安局交通警察は4月1日、7日前に発生した死亡ひき逃げ事件につき、わずかなブレーキ痕とプラスチック片から被疑者方某を検挙した。3月26日23時頃、通報を受けた同交通警察大隊事故一科は、現場で男性1名が倒れて死亡しているのを発見したが、1メートルのブレーキ痕と2センチのプラスチック片の他に監視カメラ等の手掛かりは無かった。そこで、専門家の鑑定によりプラスチック片が某メーカー製電動二輪車のものと特定し、現場沿線の監視カメラを追って同二輪車が現場から4.8キロ離れた村から出てきたことを突き止め、同村在住の被疑者検挙に至った。被疑者は事実を認め、自宅から犯行に使用された二輪車が見つかっている。

(6) その他

ア ブランド品偽造販売事件（日照市）

日照市港航公安局は近日、ブランド品の偽造販売事件を摘発し、被疑者5人を検挙した。同局は昨年末、ネット購入したスポーツウェアが偽物だったとの通報を受け捜査を開始、ネット配信先の住所を突き止め、青島市において被疑者門某を検挙（妻は自首）するとともに偽造ブランド品3,000点を押収した。その後、門夫妻の仕入れ先である孫親子を偽造ブランド品倉庫で現場検挙し、偽造ブランド品1.2万点を押収、しばらくして偽造元の韓某も同局に自首した。韓某は、2019年頃からアパレル工場内でブランド品の大量偽造を始め、孫親子ら卸売業者に4.1万件を販売、関連金額は5,000万元余りに至る。

イ 微信グループ内の麻雀賭博も賭場開帳罪を構成するとの判決（済南市）

済南中級法院は5月24日、微信グループ内に賭場を開設し利益を得ていたとして、被告人王某に懲役10か月（執行猶予1年）、併せて3,000元の罰金と不法所得11,496.96元の没収判決をした旨を公開した。王某は、2020年2月～2021年10月の間、微信の個人アカウントでグループを作成し、賭博参加者を募集するとともに、某麻雀ゲームアプリを登録、ゲーム内のポイントに応じた資金決済や毎回12元毎の入場料の回収を行っていた。本件は、微信グループを“賭場”と見なせるかが焦点となっていた。

ウ 青島初、国外からの個人情報侵害事件判決（青島市）

市北区法院は6月8日、青島初となる国外からの個人情報侵害罪にかかる刑事附帯民事訴訟事件を公開審理し、60余名の人大代表や政協委員等が傍聴した。被告人李某は2022年3月、依頼を受けて他人の携帯電話の個人情報を不法に取得して管理するソフトを開発し、併せて日常の維持管理を担うようになった。同システムは、脅迫等の犯罪に利用され、李某が検挙されるまで1,658.4万件の個人情報を不法に取得し、李某は計8.5万元の利益を得ていたという。法院は、李某に懲役2年と罰金10万元を併科する判決を下すとともに、附帯の民事公益訴訟では、システムの完全破壊と国家級メディアにおける公開謝罪、賠償金8.5万元の支払いを命じた。

エ 車のサイドミラーに貼られたQRコードに注意（青島市）

市内の駐車場では最近、サイドミラーにQRコードを貼られた車両が散見される。これをスキャンすると、卑猥な内容が表示され、騙された者が犯罪に巻き込まれてしまう。青島市公安局は本年、すでに17の卑猥な広告を貼っていたグループと3カ所の印刷所を摘発、16人を刑事拘留し、9人を行政拘留している。

4. 治安対策等報道

(1) 統計

ア 青島市公安局による経済犯罪取締り状況（青島市）

本年5月15日は、“第14回全国公安機関経済犯罪予防撲滅宣言の日”である。青島市公安局は、昨年からの“雲端打撃”“魯劍2022”等の活動で各種経済犯罪518件を取締り、1,418人を検挙、4.31億元あまりの経済損失を取り戻している。“キツネ狩り”作戦では20人の国外逃亡犯を検挙し、省庁祝電表彰を受けた。

イ 山東省公安による経済犯罪取締り状況（山東省）

山東省公安厅は5月16日、“大衆型経済犯罪予防取締り記者会見”において、2021年と2022年の二年間で2,144件の大衆型経済犯罪を取締り、6,053人を検挙、15.08億元の経済損失を取り戻したと発表した。近年、山東省公安厅共産党委員会は同犯罪に注目しており、“雲端打撃”や“魯劍”活動で金融の安全を保障している。

(2) 各種対策

ア 公安部が統一大学入試の交通対策を通知（全国）

公安部交通管理局は5月24日、全国統一大学入試（高考）における交通管理を徹底するよう各地の公安交通部門に通知した。通知では期間中、受験生が乗車する車両の軽微な交通違反行為は警告後速やかに解放する、試験会場周辺の交通環境を整理するなど、入試の全面サポートを要求している。

イ 夜間交通取締り（青島市）

城陽交通警察大隊は6月2日～4日夜の間、組織的な夜間取締りを実施し、延べ78名の警察官と18台の警察車両により酒酔い運転8件、酒気帯び運転22件を検挙した。同隊はまた、6月4日22時20分に誕生日を友人と飲酒し、帰宅しようと車を運転した事案、6月2日21時に3本のビールを飲んだが酔っていないと思い運転した事案、6月4日23時に飲酒後にドライブをしていた事案を紹介し、注意喚起した。